熊本高等専門学校			 開講年度 令和06年度(授業科目	実践英会話			
				2027年/文)	JX X 11C	<u> </u>			
		0025		利日区公		·⁄α			
科目番号		0035		科目区分	一般/必				
授業形態 授業			IN (7 / N)	単位の種別と単位		2			
開設学科			科(八代)	対象学年	3				
開設期		通年		週時間数	2				
教科書/教	林	Cambrid Shape It	ge Experience I, Cambridge Experi ! Level 3, Combo A, Student's Boo	ience I Workbook ok and Workbook v	(Cambridge UP) with Practice Ex) tra			
担当教員			n Crowther,Ambrose Richard,福井		VIIII I I GOLIOC EX				
到達目		120	c. c	ш, ,					
	s will be al	hla ta:							
A. Impr B. Partic	ove their E	English proficass discussion	ciency in the skills of speaking, liste ons and share their individual ideas	ening, reading and	d writing.				
C. Beco ルーブ!		naepenaent	learners of English						
<u>ルーン:</u>	ソック		Ideal Level	Standard Lovel		Unaccontable Lovel			
			Ideal Level	Standard Level		Unacceptable Level			
Knowled of Englis	ge and Un h Vocabula	derstanding ary	Students can recognize and understand the target vocabulary and can produce the vocabulary with correct spelling and pronunciation.	Students can recognize and understand the target vocabulary and can produce the vocabulary with correct spelling and pronunciation with few errors.		Students cannot recognize or understand the target vocabulary nor can they produce the vocabulary with correct spelling or pronunciation.			
Knowled of Englis	ge and Un h Gramma	derstanding ır	Students can recognize and understand the target grammar and can complete grammarbased activities.	Students can recognize and understand the target grammar and can complete grammarbased activities with few errors.		Students cannot recognize or understand the target grammar nor can they complete grammar-based activities.			
Independent Output of Target English Vocabulary and Grammar			Students can effectively produce the target vocabulary and grammar through a variety of speaking and writing activities.	Students can effectively produce the target vocabulary and grammar through a variety of speaking and writing activities with few errors.		Students cannot effectively produce the target vocabulary or grammar through a variety of speaking and writing activities.			
学科の	到達目標工	項目との関	<u></u> 係						
教育方法	 法等								
	<u> </u>	In this c	ourse, English III students will imp	rove their core Fr	nalish conversat	ion and reading comprehension			
概要		skills.							
授業の進め方・方法 requ			s are based on the activities in the textbook, allowing students to easily keep track of their ments and classroom pacing. Students are encouraged to review previous material and challenge elves with bonus activities as developing a solid core of English vocabulary and grammar is essential for bing fluency.						
注意点		classroo content If the ov resubmi	are expected to preview and review lesson content outside of the classroom. The time in the n should be devoted to asking questions to confirm understanding, practicing the target lesson and developing confidence by engaging in English conversation with the teacher and classmates. erall grade for the year is less than 60 points, the student will be evaluated on the basis of ted reports and re-evaluation examinations. If the score is less than 60 even after re-evaluation, the will not receive credit for the course.						
授業の間	宝性 , 履机	<u> </u>							
	<u> 禹 エ・ /復刊</u> ティブラーニ				-	□ 宇教奴除のちる物昌による極端			
<u> </u>	ティノフー_	_2/)	☑ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	\	□ 実務経験のある教員による授業			
+∞ ** =±=									
授業計画	<u> </u>	\m	板架去点	1	コットッカルキロ種	F			
		週	授業内容		週ごとの到達目標				
		1週	Introduction / Overview Starter Unit		Remembering tl	ne previous units			
		2週							
		3週							
	1stQ	4週							
	ISIQ	5週							
		6週	Oral Test						
		7週	Oral Test						
		8週	Quarter 1 Test						
前期		9週	Quarter 1 rest						
		10週							
		11週		+					
	2ndQ	12週	Out Tark						
		13週	Oral Test						
		14週	Oral Test						
		15週	Quarter 2 Test						
		16週	Final Review						
後期	2.10	1週	Introduction / Overview Starter Unit	ľ	Talking about To Reviewing Simp	echnology le Present			
	3rdQ	2週	Unit 1: What Inspires You?		Describing People Vocabulary: Feelings				
		1	· ·		vocabulary: Fee	aniys			

4回			_								
#型 Unit 1: What Inspires You? Listening: Phrasal Verbs Gammari: Used to Interviewing Semeone Writing a Lister to a Magazine Market Condition Market Con			3週	l	Unit 1: What Ins			You?	Reading Comprehension Grammar: Simple Past / Past Continuous		
Minima a Letter to a Magazine Writing a Letter to a Magazine Minima Crail Test Vical Test Vical Test Vical Mark Vical			4週	- Unit		Jnit 1: What Inspires You?			Listening: Phrasal Verbs		
2回			5週	[Unit 1	1: What Ins	pires	You?			
### Page 2					Unit 1: Oral Test						
9回 Unit 2: What Is Art?											
10回 Unit 2: What Is Art? Reading Comprehension Grammar Present Perfects Regular Linguistics Reading Comprehension Grammar Present Perfects Regular Linguistics Reading Comprehension Grammar Present Perfects Regular Linguistics									Discussing Art		
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##		4thQ	9週		Unit 2: What Is		Art? 		Vocabulary: Visual & Performing Arts		
### 4th Q Unit 2: What Is Art? Describing Pictures 13명	4		10ì	周	Unit 2: What Is Art?			Regular / Irregular Verbs			
13回 Unit 2: What Is Art? Describing Pictures Writing a Review 13回 Unit 2: Oral Test 15回 Final Review 15回 Unit 2: Oral Test 15回 Final Review 15回 Unit 2: Oral Test 15回 Victor 4 Test 15回 Vict			11ì	<u>周</u>				Grammar: Already, Just, Still & & Yet			
15週			-						Describing Pictures Writing a Review	Writing a Review	
15週 Quarter 4 Test											
16週 Final Review											
### 1											
分野 学習内容 学習内容 学習内容 学習内容 対応	 	アカロ		_			日垣	<u>5</u>	l		
本語		<i>, ,</i> ,,,,,,-	<u>T </u>							到達しべま	授業組
	ル棋			ルギ		于自门谷	問⇒	手に伝わるよう。 句・文におい	 ナス基本的かリズムやイントネ	,	1又未则
#							ーシ	ョン、音のつながりに配慮し	て、音読あるいは発話できる。	` 3	
# 加速量ができる。 中学で呼吸の文法や文構造に削え、高等学校学習指導要領に進し 方文法や文構造を習得して適切に適即できる。 日常生活や身近な話題に関して、毎分100頭程度の速度ではっき うとした発音で語された内容から必要な情報を創きとることができる。 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表 現を用いて実施できる。 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表 対応性ができる。 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表 対応性ができる。 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し 1000種程度のまますのある玄草を実証で書くとができる。 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し 1000種程度のまますのある玄草を実証で書くとができる。 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し 1000種程度のまますのある玄草を実証で書くとができる。 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し 1000種程度のまますのある玄草を実証で書くとができる。 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し 1000種程度のまますのある玄草を実証で書くとができる。 「会話のみまるとかできる。」 実際の場面で目的に応じて、基本的なコニュニケーション方略 (ジェスチャー、アイコンタクト)や適切に用いることができる。 実際の場面で目のに応じてディベートを通りに関する場合とができる。 実話でディスカッション必要に応じてディベートを根定して 3 会話を記をといってやり取りが変をかての目がなどができる。 実話でディスカッション必要に応じてディベートを行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。 学話でディスカッション必要に応じてディベートを行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。 第60のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やアクララフライマイングにおりでとの構成に留望して書くことができる。 関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアル などの概要を用度し、必要な情報を表われるよう、英文アクニカル ライディングにおける基礎的な道像で表現を使って書くことができる。 実際の場面や自然に応じて、効果的なコミュニケーション方路、実際の場面や自然に応じて、効果的はコミュニケーション方の表で表現を表現を使って書くことができる。 実際の場面や自然に応じて、効果的なコミュニケーション方の表で表現を表現を使って書くことができる。 実際の場面や自然に応じて、効果的なコミュニケーション方の表で表現を表現を表現を使って書くことができる。 実際の場面や自然に応じて、効果的なコミュニケーション方の表で表現を表現を表現を使って書くことができる。 実際の場面や自然に応じて、効果の表現を表現を使って書くことができる。 またいまで表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表						基礎となる	明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。		3		
た文法や文権途を習得して適切に運用できる。							中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた 新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して近 切な運用ができる。		3		
P							中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。		3		
日常生活や身近水話語に関して、自分の意見や感想を基本的な表 3							りとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることがで		3		
英語運用能							日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。		3		
カの基値面						芷迺 渾田能	説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。		3		
100話程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。 日国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。 実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略 (ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。 国分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120話程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。 英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。 英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。 一切のの書話や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。 関心のあるトピックについて、200話程度の文章をバラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。 関心のあるトピックや自分の専門分野でプレゼン等にもつながる マ易な英語での口頭発表や、内容に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。 関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。 東京の報等の作成にもつかるよう、英文アクニカル 3 英文資料を、自分の専門分野に関する論文やマニュアル 3 英文資料を、自分の専門分野に関する論文やマニュアル 3 東京の報等の作成にもつがるよう、英文アクニカル 3 東京の報等の作成にもつがるよう、英文アクニカル 3 東京の報等の作成にもつがるよう、英文アクニカル 3 東京の報等の作成にもつがるよう、英文アクニカル 3 東京の報等の作成にもつがるよう、英文アクニカル 3 東京の報等のが記録を表示してきる。 東京の報等を表示してきる。 東京の報音を表示してきる。 東京の報音を表示してきる。 東京の報音を表示してきる。 東京の報音を表示してきる。 東京の事門分野に関する論文やマニュアル 3 東京の事門分野で関する論文やマニュアル 3 東京の事門分野で関する論文を表示してきる。 東京の事門分野で、「本京の事門の事門分野で、「本京の事門の事門の事門の事門の事門の事門の事門の事門の事門の事門の事門の事門の事門の			文・社会英語		力の基礎	力の基礎固	を読み取ることができる。		3		
重で積極的にコミュニケーションを図ることができる。 大文・社会 大文・社会 大文・社会 大文・社会 大文・社会 大文・十一、アイコンタクト)を適切に用いることができる。 日分の専門分野などの予解知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。 日分の専門分野などの予解知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。 英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生ら3準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。 英語で用機力向上のた。 英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。 関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。 関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。 関心のあるトピックや自分の専門分野のブレゼン等にもつながる 不要な英語での口頭発表や、内容に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。 関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。 東欧の報要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。 東京の報要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。 東京の報要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。 東京の報要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。 東京の報要を把握し、必要な情報を表現を使って書くことができる。 東京の報画や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適 3 まずには関きをしなど)を適 3 まずには関きをしなど)を適 3 まずには関きをしなど)を適 3 まずには関きをしなど)を適 3 まずには関きをしなど)を適 3 まずには関さることができる。 東京の場面を関するには、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適 3 まずには、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適 3 まずには、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適 3 まずには、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適 3 まずには、アイコンタクト、代用表現、関き返しなど)を適 3 まずには、アイコンタクト、代用表現、関き返しなど)を適 3 まずには、アイコンタクト、代用表現、関き返しなど)を適 3 まずには、アイコンタイン・アイコンタイン・アイコンタイン・アイコンタイン・アイコンタイン・アイコンタイン・アイコンタイン・アイコンタイン・アイコンタイン・アイコンタイン・アイコンタイン・アイコンタイン・アイン・アイコンタイン・アイン・アイコンタイン・アイコン・アイン・アイン・アイコン・アイン・アイコン・アイン・アイン・アイコン・アイコ							100語程度のまとまりのある文章を英語で記		自分の意見や感想を整理し、 で英語で書くことができる。	3	
基礎的能力 大文・社会 科学・ (ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。 自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120届程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。 英語でのディスカッション(必要に応じてディペート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。 英語でディスカッション(必要に応じてディペート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。				英語			面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。		3		
する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。 英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を視定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。 英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。 母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。 関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフラ オティングなど論理的文章の構成に留意して書くごとができる。 関心のあるトピックや自分の専門分野のブレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。 関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。 英文資料を、自分の専門分野に関する論文やマニアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。 英文資料を、自分の専門分野に関する論文やマニアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。 英文資料を、自分の専門分野に関する論文やマニアル 3 英文資料を、自分の専門分野に関する論文やマニアル 3 英文資料を、自分の専門分野に関する論文やマニアル 3 東文資料を、自分の専門分野に関する論文やマニアル 3 東文資料を、自分の専門分野に関する論文やマニアル 3 東文資料を、自分の専門分野に関する論文やマニアル 3 東文資料を、自分の事件を表現を使って書くことができる。 東際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略 (ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適 切に用いることができる。 東際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略 (ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適 切に用いることができる。	#T#4545	人文・					実際 (ジコ	の場面や目的に応じて、基本的 ニスチャー、アイコンタクト)を	りなコミュニケーション方略 を適切に用いることができる。	3	
大変を内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。 一きる。	基礎的能力	科学				力向上のた	する	報告や対話などを毎分120語科	呈度の速度で聞いて、概要を把		
英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、							、教	、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などがて		3	
英語連用能力向上のための学習 関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平場な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。							英語 学生 。	でディスカッション(必要に応 自ら準備活動や情報収集を行い	じてディベート)を行うため、 ハ、主体的な態度で行動できる	3	
カ向上のための学習							母国 で英	以外の言語や文化を理解しよう 語で円滑なコミュニケーション	うとする姿勢をもち、教室内外 ンをとることができる。	` 3	
関心のあるトピックや自分の専門分野に関する簡単な質問や応答など 3									3		
などの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。							平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答など		3		
**P口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。 3 *実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。 3 *評価割合 Written Examination Oral Examination Class Activities 合計								′ 3			
実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略 (ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適 切に用いることができる。 評価割合 Written Examination Oral Examination Class Activities 合計							や口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことがで		/ 2		
Written Examination Oral Examination Class Activities 合計							実際	の場面や目的に応じて、効果的	りなコミュニケーション方略 代用表現、聞き返しなど)を適	i 3	
	評価割合	評価割合									
総合評価割合 40 20 40 100				Wri	tten E	xamination				合計	
	総合評価割る	<u> </u>		40	40 20			20	40	100	

Basic Proficiency	40	20	40	100
Specialized Proficiency	0	0	0	0
Cross Area Proficiency	0	0	0	0